

二つ目

## 木積地区農空間保全協議会（貝塚市）

- 木積地区は、ほ場整備事業完了以降、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H19年度に木積地区農空間保全協議会が設立され、自治会や小学校等、地域住民と連携した地域資源の保全管理を進むとともに、農地中間管理事業も活用し、新規就農者や企業等への農地集積にも積極的に取り組み、多様な担い手による地域資源保全が図られている。

## 活動開始前の状況や課題

- H13年度には場整備が完了したが一部で遊休農地が発生したり、後継者・担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農環境の悪化が懸念されていた
- 一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた



## 取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、ため池法面の補修や水路・附帯施設の保守点検や補修等を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 地元小学校(葛城小学校)の体験学習やNPO法人と連携した都市住民向けの農業体験、コスモス、菜の花等景観作物の植栽等、農村環境保全活動や交流活動に積極的に取り組んでいる。



## 【地区概要】

取組面積	28.05ha	[田8.88ha 畑19.17ha]
農業用施設	開水路 3.0km 農道 3.6km	パイプライン 3.3km ため池 2箇所
主な構成員	自治会、水利組合、土地改良区、農協、小学校	
交付金	649千円（農地維持） 774千円（資源向上）	

## 取組の効果

- 構成員の直営施工で施設の軽微な補修に取り組むことにより、より効率的に交付金を活用して農業用施設が保全管理されている。
- 農村環境保全活動や都市農村交流活動に積極的に取り組むことにより地域住民・都市住民の参画・理解が促進されている。
- 農地中間管理事業も活用し、新規就農者等の若手農家や企業、NPO法人等が地区に参入し、多様な担い手による農空間保全が図られている。

